

# 新型コロナウイルス関連検査のご案内

当健診センターでは以下の検査を実施しております。お気軽にお申し込みください。

## 重要なお知らせ：事前にご理解ください

- この検査は無症状の方が対象であり、発熱・カゼ症状などのある方はお受けできません。また、すでに新型コロナウイルス感染症が疑われている方もお受けできません。
- 検査によって新型コロナウイルスの感染が確実に診断できるわけではありません。また、最終的な診断には専門医の診察が必要です。すでに症状がある場合は当院の外来を受診してください。
- 検査結果で何か異常が見つかった場合には当院の専門医による診察が受けられます（保険診療）。
- 検査には予約が必要です。
- 結果は約1週間後にご指定の住所にお送りいたします。ただし、検査結果によっては速やかにご連絡させていただきます。

## 検査の対象となる方

- 発熱・カゼ症状などがない方
- 新型コロナウイルス感染のスクリーニングが必要な方
- 新型コロナウイルス感染が気になる方

## 検査の内容

- 【PCR 検査】 新型コロナウイルス感染の有無を調べる代表的な検査です。ただし確実な診断はできません。検査の感度は概ね70%といわれています。鼻咽頭粘膜を採取します。外注検査のため、結果まで2~3日のお時間がかかります。
- 【LAMP 検査】 新型コロナウイルス感染の有無を調べる代表的な検査です。PCR 検査とほぼ同様の精度で検査が可能です。鼻咽頭粘膜を採取します。院内で実施する検査のため、PCR 法に比べて安価で、かつ、結果は当日出すことが可能です。
- 【抗原検査】 新型コロナウイルス感染の有無を調べる検査です。発症して10日以内の比較的ウイルス量が多い場合に適しています。ウイルス量が少ないと検出されない場合があります。感度はPCR 検査に比べて劣ります。鼻咽頭粘膜を採取します。
- 【抗体検査】 過去（数か月以内）に新型コロナウイルスに感染していたかどうかを調べる検査です。現在の感染状態を調べることはできません。また抗体が確認された場合でも、新型コロナウイルス感染を予防できる保証はありません。血液を採取します。
- 【CT 検査】 肺炎の有無を調べる検査です。仮に無症状で新型コロナウイルスに感染していた場合、重症化する前に発見できる可能性があります。また、肺がんなど他疾患を含めたスクリーニングも可能です。

## 検査費用（全額自費の検査となります）

- 【PCR 法検査】 35,000 円（税抜き）
- 【LAMP 法検査】 25,000 円（税抜き）
- 【抗原検査】 12,000 円（税抜き）
- 【抗体検査】 8,000 円（税抜き）
- 【CT 検査】 16,000 円（税抜き）

※他の検査とセットでお申し込みの場合はCT 検査を10,000 円（税抜き）で実施いたします。

## 新型コロナウイルス関連検査・一覧表

PCR検査	特性：新型コロナウイルス感染症の代表的な検査です。	実施可能
	短所：	
抗原検査	特性：発症して10日以内（＝ウィルス量が多い）の検査に適しています。	実施可能
	短所：陰性＝新型コロナウイルス感染症ではないとは言えません。	
抗体検査 (IgG)	特性：新型コロナウイルス感染症の過去（数カ月以内）の感染が分かります。	実施可能
	短所：現在の感染状態は分かりません。	
抗体検査 (IgM)	長所：新型コロナウイルス感染症の過去（数週間以内）の感染が分かります。	実施しておりません。
	短所：現在の感染状態は分かりません。	
CT検査	長所：肺炎の有無が分かります。	実施可能
	短所：新型コロナの診断はできません。	

## 抗原検査とCT検査の組み合わせについて

	CT画像所見・有り (*1)	CT画像所見・無し (*1)
抗原検査 (陽性)	新型コロナウイルス肺炎	新型コロナウイルス感染症だがまだ肺炎には至っていない
抗原検査 (陰性)	可能性1: 新型コロナウイルス以外の肺炎 可能性2: 撮影時の息どめ不良、加齢による変化など 可能性3: 新型コロナウイルス肺炎の検査偽陰性 (*2)	現時点では新型コロナウイルス感染症とは言い難い (*2)

(\*1) 新型コロナウイルス感染の50%-80%程度には肺炎がある（肺炎がない人もいる）。

肺炎がある新型コロナウイルス感染（＝新型コロナ肺炎）は肺炎がない新型コロナウイルス感染より重症と言える。

(\*2) 抗原検査はウィルス量が多くなると陽性にならないので、PCR検査よりは偽陰性の可能性は高くなる。